

健康被害 従来のタバコに匹敵?! 続報

加熱式タバコ・電子タバコ 新型タバコ

タイプ別 有害物質比較				
※製品によってバラつきあり				
◎: 多い ○: 結構ある ▲: 少なくない △: やっぱりある				
◎	▲	○	◎	ニコチン
◎	○	◎	▲	グリセオール
○	◎	▲	△	プロブレングリコール
④	③	②	①	
電子タバコ(国内販売)	加熱式タバコ(低温タイプ)	加熱式タバコ(高温タイプ)	紙巻きタバコ	5300種類の化学物質/70種類の発がん性物質
ニコチンなし/肺炎を起こす危険性あり	有機溶剤の発生は最大/肺がしばむ危険性あり	発がん性あり/有機溶剤のリスクもプラス		製品



利用者ショック

「そんなの知らなかった!」

「新型」タバコは、健康被害が少ないと誤解されがちですが、人工呼吸器が必要になった重症肺炎の症例が発生しています。

「新型」にもタバコ葉が使われていますから、紙巻きタバコと同様にアルデヒド類などの発がん性物質も発生します。たとえ量が少なくても、長期間の使用で肺がんが発生する恐れがあります。室内で使用した場合には、気管支までしか吸引されなかったエアロゾル(霧・ミスト)

「新型」でも健康被害・受動喫煙

「未知のリスク」
グリセオール&
プロブレングリコール

高温タイプの加熱式の場合にはタバコスティックを作る過程で、低温タイプや電子タバコにはリキッドとして使われるネバネバの有機溶剤です。食品添加物や歯磨きペーストなど経口投与では無害ですが、加熱して肺にエアロゾルとして吸入すると、肺がしばむという指摘があります。



新型コロナウイルス
提供: 米国立アレルギー・感染症研究所



すべてのタバコ製品は呼吸器の免疫システムを傷つけます。そして、インフルエンザや新型コロナウイルスなどのような感染症にかかりやすく、重症化しやすくなる。こんな研究結果が世界各地で報告されています。また、ウイルスが付着した指を口に持っていくのも、感染のもとに。自分の身を守るためにも、この機会に禁煙を始めてみませんか?

呼吸器感染症の
感染・重症化リスク大

により、家族特に子どもに喘息や過敏症が発生・悪化する危険性もあります。

監修
産業医科大学
産業生態学研究所
教授 大和 浩

Dr.大和のイチョシ 禁煙外来が狙い目

医師の指導と禁煙治療薬、12週間で5回の外来で、成功率が高くラクに禁煙できる「禁煙外来」がおすすめ!健康保険適用(加熱式タバコも対象)で、1~2カ月分のタバコ代(14,000~20,000円)で禁煙できるのもポイント。なお、2020年4月から、パソコンやスマホなどでの「オンライン診療」の対象になりました。*初診と最終回は対面での診察が必要。

けんぽお知らせ板

あなたの禁煙を当健保がサポート!

禁煙外来治療 補助金のご案内

対象者

健康保険適用による禁煙治療(全5回・12週間)を終了した被保険者

禁煙外来の健康保険適用条件

下記の①~④すべてを満たす場合に、健康保険が使えます。

- ① ニコチン依存症の判定テストが5点以上
- ② 35歳以上の人、
「1日の喫煙本数×喫煙年数」が200以上
- ③ ただちに禁煙をはじめたいと思っている
- ④ 禁煙治療を受けることに文書で同意している

ご利用方法

4月1日~12月31日に全5回の診療を受け、
3月31日までに当組合へ補助金を請求

↓

10,000円

健保組合で補助

※年度内1回のみ。10,000円に満たない場合は実費を支給

ご注意ください

- 自由診療による治療は補助の対象外です。
- 禁煙外来治療を受ける全5回すべての診療日において、当組合の被保険者である場合のみ、補助の対象となります。
- 領収書(写)の添付がない場合、補助金のお支払いはできません。
- 補助金支給後に診療報酬明細書(レセプト)などで支給額の過払いが判明した場合は、過払い額の返還を求めることがあります。

詳しくは、健保ホームページをご覧ください。

海空運健保